

面影 (ペップ・リヤド)

クローゼットの奥に君の香りを探す
ひからびた静寂に君の足音の響きを探す
荒れ放題の庭の雑草の中に花を探す
君の肌の感触を見いだそうと

共にすんだ家の壊れた屋根の下で
もう動かない時計達が時間の髓を吸い尽くす
君の息づかいが聞こえない今、魔法は消え世界は止まり
行く先を失った月が空のどこかで沈んでいる

君がいないから
血の一滴一滴までが痛む
嘆かずにはいられない
君を抱きしめることができない今

昔そうであった頃の二人の面影を探す
人生が二人の袖を引っ張って先へ進ませてくれていた頃の
君の微笑みのかげらを拾いながら、いたる所を探す
思い出に濡れそぼった写真の中に

不可能と言う名の浜辺を手をつないで歩く
あの老人達のようにもう成れない
別れのキスすらなしにいつか一人で死ぬこととなった今
思い出の中に君の口づけを探す